

2008年1月21日

(財) 東洋紡百周年記念バイオテクノロジー研究財団 平成19年度研究助成贈呈発表

(財)東洋紡百周年記念バイオテクノロジー研究財団(理事長:柴田 稔)は、1982年(昭和57年)5月、東洋紡の創立百周年を記念して設立された研究助成団体です。

このたび、平成19年度の研究助成の贈呈者を次の通り決定し、総額3,800万円の研究助成を贈ることになりました。

1. 海外留学研究助成(長期研究助成)

本財団は、毎年バイオテクノロジー研究分野の内外若手研究者に、1年間の海外留学費用の助成を行っています。本年度は、8名の若手研究者に海外留学の助成金を贈ることになりました。贈呈者の氏名、留学先と研究テーマは次の通りです。

本年度の海外留学研究助成の贈呈式は、2008年1月24日に東洋紡本社で行われます。

氏名	所属	留学先	研究テーマ
木田 泰之 キタ ヤスユキ	東北大学 加齢医学研究所	ソーク研究所	力学的負荷と心肥大とメタボリックバランスの解析
木部 達也 キベ タツヤ	静岡大学大学院 理工学研究科	ロックフェラー大学	細胞周期に依存するテロメア構造の解析
坂倉 正義 サカクラ マサヨシ	東京大学大学院 薬学系研究科	ヴァンデルビルト 大学	シャルコー・マリー・トゥース病の原因遺伝子産物である4回膜貫通型蛋白質:末梢ミエリン蛋白質22の物理化学的性状解析
高島 康弘 タカシマ ヤスヒロ	理化学研究所 発生・再生科学 総合研究センター	ケンブリッジ大学	ヒトES細胞を用いた分化系の確立とreprogramming
福田 七穂 フクタ ナナホ	理化学研究所 脳科学総合研究 センター	カロリンスカ大学	アクチン結合能を持つRNA結合タンパク質hnRNPのMrna輸送における作用機構の解明
藤村 卓 フジムラ タク	東北大学大学院 医学系研究科	ハイデルベルグ 大学	悪性黒色腫に対する新規免疫療法の開発:TLR拮抗体、Nod2拮抗体、制御性T細胞の抗腫瘍免疫誘導における役割の解析
松本 健 マツモト ケン	熊本大学発生医学 研究センター	ロンドン大学	背/腹側視床の個性決定に司る分子基盤の解明(プレパターニング遺伝子群の機能解析)
宮下 俊雄 ミヤシタ トシオ	理化学研究所 脳科学総合研究 センター	カリフォルニア 大学	大脳皮質における感覚認知学習の神経基盤解明を目標とした、短時間で達成できるハイスループットなラット触覚弁別タスクの開発

2. 海外学会発表研究助成（短期研究助成）

本財団は、毎年、バイオテクノロジー研究分野の若手研究者が海外学会発表を行う費用の助成を行っています。本年度は、8名の若手研究者に海外発表の助成を行いました。贈呈者の氏名と研究発表学会は次の通りです。

氏名	所属	研究発表学会	開催場所
秋廣 高志 アキヒロ タカシ	筑波大学 遺伝子実験センター	The 4th Solanaceae Genome Workshop 2007	韓国 済州島
伊藤 靖浩 イトウ ヤスヒロ	東京大学 分子細胞 生物学研究所	37th annual meeting of Society for Neuroscience	サンディエゴ 米国
宇留野 晃 ウルノ アキラ	東北大学 医学部附属病院	13th World Congress on Heart Disease	バンクーバー カナダ
上妻 馨梨 コウズマ カオリ	奈良先端科学技術大学院 大学	14th International Congress of Photosynthesis	グラスゴー 英国
津田 法子 ツタ ノリコ	新潟大学大学院 医歯学総合研究科	37th annual meeting of Society for Neuroscience	サンディエゴ 米国
福田 七穂 フクダ ナナホ	理化学研究所 脳科学総合研究センター	Association of Chemoreception Science (AchemS)	サラソタ 米国
前田 耕司 マエタ コウジ	徳島大学大学院	アメリカ人類遺伝学学会	サンディエゴ 米国
毛受 暁史 モンジュ トシ	京都大学大学院 医学研究科	第14回欧州癌学会	バルセロナ スペイン

以 上

（この件に関するお問い合わせ先）

（財）東洋紡百周年記念バイオテクノロジー研究財団 事務局（村山）

* 電話 06-6348-4111 * FAX 06-6348-3329 * Eメール biofund@ho.toyobo.co.jp

<http://www.toyobo.co.jp/biofund/index.htm>